

平成27年度

# ”宗谷シーニックバイウェイ” 活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

1. ルート運営 1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日:2016/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針(H27~)	ルート(エリア)運営活動計画活動内容(H27~)	H27					総括
			活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況資料番号	
景観	宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用	①宗谷らしい景観や環境が体感できるポイントの創出と磨き上げ	浜頓別町道路景観診断の実施	稚内開発建設部	H27年12月8日	26名(主催者11名、宗谷SBW関係者15名)	SY - 7	H27年から宗谷ルートに新規自治体として浜頓別町が加入したことを契機に浜頓別町内の国道及び地域資源(オオワシの森等)の景観診断をすることで、宗谷らしい景観や環境が体感できるポイントの新たな発見と課題が洗い出すことができた。
		②地場産業との連携による景観・環境の保全	-					
		③景観を美しくみせ、環境を守る清掃活動	クリーンキャンペーン りしり	利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会 【協力協賛】利尻町観光協会	平成27年5月23日	主催者 約 80名 一般参加 約 20名	SY - 3	
		④景観や環境を保全するルールづくり	-					
		⑤フェリー乗り場での泥落とし等外来種混入防止と駆除活動	-					
	住む人と来る人(交流人口)の幸せを共感できる環境づくり	③おもてなしを演出する春・夏・秋の季節に応じた植栽活動	稚内空港線植樹帯維持活動	フラワーマスター稚内	H27年6月6日	150名	SY - 5	観光客のお迎えとして一役を担った両活動も参加人数及び団体数も拡大傾向にあり、継続的な活動となってきた。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加し、多様性を帯びてきた。また、「礼文島リボンプロジェクト」26年度末までに約1,900万円の基金が集まり、毎年、デザインを変えることで、リピーターへの対応などをおこし先駆的な活動として認知されてきた。
		④アイスキャンドルやスノーキャンドルによる冬の色彩の演出	彩北わっさきゃナイト2016	稚内みなとまちづくり懇談会	H28年2月13日	1,000名	SY - 9	
		⑤流木を活用したプランターづくり	-					
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-					
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-					
環境	住む人と来る人(交流人口)の幸せを共感できる環境づくり	景観・環境に関わる活動 方針③次世代が安心して豊かな生活がおくれる地域づくりへ	-					
		①住民と観光客が双方プラスになる宗谷エコレージなどのプログラムの推進	-					
		礼文島リボンプロジェクト	礼文島観光協会	通年	-	SY - 1		
		利尻山コマドリプロジェクト	利尻山登山道等維持管理連絡協議会	通年	-	SY - 2		
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-					
	次世代が安心して豊かな生活を送れる地域づくり	②CO2を削減するシーニックの森等の植栽活動の推進	-					
		景観・環境に関わる活動 方針①宗谷らしい自然景観や環境の保全と活用へ	-					
		①宗谷の素晴らしさに対する認識向上及び啓発のための勉強会の開催	-					
		②地域の将来を担う子供たちへの教育活動	-					
		③地域コミュニケーション形成のため、ボランティアの育成	-					

1. ルート運営 1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見	報告年月日:2016/3/31
--------------------	-----------------------------	-----------------

		H27						
情報	特異な地理条件(利尻・礼文)を克服する情報発信	①観光案内所及び情報ボランティア等コミュニケーションによる情報提供	ルート内情報発信事業	宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会	H27年5月29日-9月25日	-	SY - 11	宗谷シーニックバイウェイのルート内(稚内・利尻・利尻富士・礼文・豊富・猿払・浜頓別町)にある各観光協会・観光案内所同士で連携し、旬な情報を共有し、観光客に情報発信を行う事業として、週1回のニュースレターを発行した。本事業はルート発足当初から継続的に実施している。近年は、SNS(twitter、Facebook)も活用し、情報発信を行っている。
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	-					
		⑤宗谷らしいシンボリックなデザインの提案	H18完了					
		④ルート及び情報発信場所における看板等の設置	-					
		②既存ツール(ネットやSNS)及び紙媒体(ポスター等)を活用した情報発信の充実	-					
		情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんなで解決するシーニックバイウェイの連携強化へ	ルート内情報発信事業	宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会	H27年5月29日-9月25日	-	SY - 11	
		③オンラインワンな情報発信内容・方法の提案	-					
観光	宗谷の魅力(底力)を磨き上げ十分に提供できるおもてなしの育成	①空港やフェリーターミナルなどの宗谷の玄関口におけるおもてなしの演出	-					
		②宗谷らしさが体感できる参加型・体験型のメニューづくり	最北フラワーマラソン大会	最北フラワーマラソン大会実行委員会	H27年6月6日	302名	SY - 4	
			彩北わっキャナイト2016	稚内みなとまちづくり懇談会	H28年2月13日			
		④景観や環境が体感できるポイントの活用とルートづくり	-					
		③物産等の地域限定商品の発掘及び供給システムづくり	-					
		⑤フットパスやサイクリングなど新たなツーリズム創出	バードウォッチングモニターツアー	稚内観光協会	H28年3月20日-23日	ツアー3名(大阪・根室・礼文より)+随行、海鳥観察会20名、意見交換会24名	SY - 10	
			道北版スイス・モビリティ関連事業「宗谷版スイス・モビリティ検討会の開催」	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H27年7月22日【稚内】 H27年8月6日【利尻富士町】 H27年10月14日【利尻富士町】 H27年10月17日【稚内】 H28年1月12日【利尻富士町】	【稚内】【10名】 【利尻富士町】【15名】 【利尻富士町】【27名】 【稚内】【16名】 【利尻富士町】【10名】	SY - 13	
			道北版スイス・モビリティ関連事業「天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携したモデルコース試走調査の実施」	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H27年8月3日~6日	8名	SY - 14	
			道北版スイス・モビリティ関連事業「山田桂一郎氏を招聘したセミナーの開催」	宗谷シーニックバイウェイ、稚内信用金庫	H27年10月16日	70名	SY - 15	
			道北版スイス・モビリティ関連事業「スイス・モビリティ先進地 スイス・ツェルマットへの視察」	稚内てっぺん塾、宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議	H27年10月1日~9日	14名	SY - 16	
			道北版スイス・モビリティ関連事業「サイクルツーリズム先進地 しまなみ海道への視察」	天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会	H27年11月14日~15日	13名	SY - 17	
			道北版スイス・モビリティ関連事業「静岡県掛川市でサイクルツーリズムを推進する佐藤氏を招聘した勉強会の開催」	天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会 一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター	H28年3月15日	45名	SY - 18	
⑦外国人観光及び教育・体験旅行の誘致	-							

1. ルート運営1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ		報告者:宗谷シーニックバイウェイルート代表 中場 直見					報告年月日:2016/3/31	
			H27					
観光	情報・観光に関わる活動 方針③地域の問題をみんな で解決するシーニックバイウェイの連携強化	①分科会活動及び団体活動の情報共有・連絡のための静テムづくり	観光関係の若手による「しゃべり場」の開催	宗谷シーニックバイウェイルート運営 代表者会議、礼文町、利尻富士町	礼文島・H27年5月1日 利尻島・H27年10月13日	礼文島・21名 利尻島・30名	SY - 12	宗谷地域で観光に関係する若手の方 が自由に意見交換を行う「しゃべり 場」を開催。平成25年度から開催し、 今年度は礼文島、利尻島で開催し、 礼文島では「地域の底力」、利尻島で は「冬期観光」をテーマにワークショップ を開催し、ルート内の情報交換を活 性させている。
		②地域の課題を共有し解決策などを考える勉強会やシンポジウムの開催	-	-	-	-	-	
		③地域の将来を担う子供たちへの教育活動を通じた地域づくり	-	-	-	-	-	
		④次世代の宗谷地域、シーニックを担う人材の発掘・育成	-	-	-	-	-	
		⑤情報やおもてなしを行うボランティアの発掘・育成	-	-	-	-	-	
		観光振興・地域づくりイベント	2015 WAKKANAI みなとコンサート	稚内のみなとを考える女性ネット ワーク	H27年7月19日	個人・団体あわせ13団体	SY - 6	
		かまくらで遊ぼう	稚内のみなとを考える女性ネット ワーク	H28年2月7日	380名	SY - 8		

# 宗谷シーニックバイウェイ

*SOYAScenic Byway*

各地域等における事業



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：礼文島リボンプロジェクト

【概要】 礼文町の希少な自然環境の保全を主な目的として、「礼文島リボンプロジェクト」を平成23年度から行っている。ピンバッチを販売額の一部が、礼文島の自然活動に活用できる基金として積み立てられる取り組みで、26年度末までに約1,900万円の基金が集まった。毎年、デザインを変えることで、リピーターへの対応などをおこなっている。積立額、活用した費用などは、以下のHPで公開。

<http://www.town.rebun.hokkaido.jp/hotnews/detail/00000202.html>

「ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト2011」ルート審査委員特別賞受賞

【日時】 通年で販売

【場所】 礼文島（観光案内所などで販売）

【主催】 礼文島観光協会



フェリーターミナル内でルート情報と共に告知



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：利尻山コマドリプロジェクト



←利尻山コマドリプロジェクト  
ポスター

↓応援ピンバッジ



【概要】近年、利尻山の登山者の増加や降雨の影響などで登山道の荒廃が目立ち始めており、その問題の対策として、平成26年より、山に棲む鳥として象徴的なコマドリがデザインされた応援ピンバッジ（1個1,000円）を島内各所で販売することで、購入者自身に山の保全意識を啓発するとともに、登山道の補修や登山マナーの普及などの活動財源確保に取り組んでいる。

【日時】通年で販売  
【場所】利尻島（観光案内所などで販売）  
【主催】利尻山登山道等維持管理連絡協議会

# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：クリーンキャンペーン りしり

- 【概要】 利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃（ゴミ拾い）を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。
- 【日時】 平成27年5月23日（土）
- 【場所】 利尻町内一円
- 【主催】 利尻建設協会・運輸協会利尻トラック部会
- 【協力協賛】 利尻町・利尻町観光協会・利尻島ロータリークラブ・稚内建設管理部利尻出張所
- 【参加人数】 約 100名（主催者側 約 80名、一般参加 約 20名）





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：最北フラワーマラソン大会

- 【概要】 礼文島を巡る10キロ、5キロ、3キロの3つのコースが楽しめるマラソン大会。礼文島観光協会も協賛して記念品（町外参加者のみ）を提供している。翌日の利尻島一周マラソン（利尻島一周悠遊覧人G ※ ゆうゆうらんになぐ）とも連携して実施している。
- 【日時】 平成27年6月6日（土）
- 【場所】 礼文島内
- 【主催】 最北フラワーマラソン大会実行委員会
- 【協力協賛】 礼文島観光協会・宗谷シーニックバイウェイ
- 【参加人数】 302名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：稚内空港線植樹帯維持活動

- 【概要】 稚内空港線（稚内空港前）の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いし、平成27年は20団体が参加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。
- 【日時】 平成27年6月6日（土） 10:00～
- 【場所】 道道稚内空港線（稚内空港前）
- 【主催】 フラワーマスター稚内
- 【協力協賛】 宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、稚内のみなどを考える女性ネットワーク、一般市民ほか
- 【参加人数】 150名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：2015 WAKKANAI みなとコンサート

- 【概要】 稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。
- 【日時】 平成27年7月19日（日）11:00～16:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【共催】 稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー
- 【後援】 宗谷地区港湾工事安全連絡協議会
- 【協賛】 NPO法人北海道みなとの文化振興機構、社団法人寒地港湾技術センター、他
- 【参加人数】 個人・団体合わせ13団体





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：浜頓別町道路景観診断の実施

- 【概要】今年度から新たな地域として宗谷シーニックバイウェイに加わった浜頓別町にて、国道238号の道路景観診断を浜頓別町関係者、宗谷シーニックバイウェイ関係者、稚内開発建設部が連携して、実施した。道路上における景観の課題とともに、今まで知らなかった地域資源を関係者間で共有することが出来た。
- 【日時】平成27年12月8日（火） 14:00～17:00
- 【場所】浜頓別町国道238号（猿払村境界～枝幸町境界）
- 【主催】稚内開発建設部
- 【参加人数】26名（主催者11名、宗谷SBW関係者15名）





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：かまくらで遊ぼう

- 【概要】 冬レンジャーの催しとして、高さ2m、2畳ほどの広さのかまくらを2基作り、その中で親子が豚汁を食べたり、雪の上で玉入れや雪中綱引きなどゲームを行った。
- 【日時】 平成28年2月7日（日）11:00～14:00
- 【場所】 稚内副港市場・駐車場
- 【主催】 稚内のみなとを考える女性ネットワーク
- 【協力協賛】 稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他
- 【参加人数】 約380名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：彩北わっきゃナイト2016

- 【概要】 稚内港北防波堤ドームを約600個のスノーキャンドルで彩る。今年で13年目となる当イベントは、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わっかない氷雪の広場』との同一会場での開催。昨年同様に北防波堤ドームのコンクリート壁に稚内北星学園大学の学生による映像作品が映し出されるという演出も行った。
- 【日時】 平成28年2月13日（土） 13:00～21:00
- 【場所】 稚内港北防波堤ドーム
- 【主催】 稚内みなとまちづくり懇談会
- 【協力協賛】 稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など
- 【参加人数】 1,000名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：バードウォッチングモニターツアー

【概要】バードウォッチングをテーマとした誘客、特にインバウンドSITの誘客の可能性を探るため、鳥に詳しい専門家を招き、宗谷岬からオオワシ・オジロワシの渡りや、コオリガモやオオヒシクイなどの海鳥、浜頓別町の「オオワシの森」など、当地の観察ポイントを視察した。21日には一般参加可能の海鳥観察会、22日にはツアーに関する意見交換および2月に実施した根室・羅臼を中心とした先進地視察報告会をそれぞれ開催した。

【日時】平成28年3月20日（日）～23日（水）

【場所】稚内市、豊富町、幌延町、猿払村、浜頓別町、天塩町

【主催】稚内観光協会

【協力協賛】宗谷シーニックバイウェイ

【参加人数】ツアー3名（大阪・根室・礼文より）＋随行者、海鳥観察会20名、意見交換会24名



観察ポイント視察



海鳥観察会



意見交換&視察報告会

# 宗谷シーニックバイウェイ

*SOYAScenic Byway*

ルート全体にかかわる広域事業





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：観光関係の若手による「しゃべり場」の開催

- 【概要】 宗谷地域で観光に関係する若手の方が自由に意見交換を行う「しゃべり場」を開催。平成25年度から開催し、今年度は礼文島、利尻島で開催し、礼文島では「地域の底力」、利尻島では「冬期観光」をテーマにワークショップを開催した。
- 【日時】 礼文島・平成27年5月1日（金）14:00～16:30 ※5/2は散策路整備のボランティア作業  
利尻島・平成27年10月13日（火）11:45～14:15
- 【場所】 礼文島・町民活動総合センター ピスカ  
利尻島・総合交流促進施設 りぷら
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、礼文町、利尻富士町
- 【参加人数】 礼文島・21名（主催者：6名 参加者：15名）  
利尻島・30名（主催者：6名 参加者：24名）





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「宗谷版スイス・モビリティ検討会の開催」

- 【概要】今年度から天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携し、スタートした「道北版スイス・モビリティ事業」について、宗谷地域での展開方向や具体的な取組み、課題等を検討する「宗谷版スイス・モビリティ検討会」を開催した。
- 【日時】平成27年7月22日14:00～16:00【稚内】【10名】  
平成27年8月6日10:00～12:00【利尻富士町りぷら】【15名】  
平成27年10月14日14:30～17:00【利尻富士町りぷら】【27名】  
平成27年10月17日9:30～11:00【稚内キタカラ】【16名】  
平成28年1月12日13:30～14:30【利尻富士町役場】【10名】
- 【主催】宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携したモデルコース試走調査の実施」

- 【概要】 美深～中川、稚内、礼文島、利尻島までのモデルコースを設定し、北海道版スイス・モビリティ研究会（dec事務局）のメンバーに試走してもらい、ルート上の課題や受け入れ環境のり方について調査を行った。
- 【日時】 平成27年8月3日（日）JR美深駅発～音威子府～中川  
4日（月）中川町～JR移動～兜沼～こうほねの家～稚内  
5日（火）稚内～フェリー～礼文島～フェリー～利尻島  
6日（水）午前：検討会
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【参加人数】 試走メンバー【8名】



抜海線を通り、稚内駅までの自転車で移動



利尻島は路線バスとレンタサイクルで移動



自転車道を走行し、島を一周



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「山田桂一郎氏を招聘したセミナーの開催」

- 【概要】 スイス・ツェルマット観光局で日本人向けの観光プロモーションを担当している観光カリスマ山田氏を講師として招聘し、「宗谷の新たな観光を考える勉強会～“環境”と“観光”の両立による地方創生～」というテーマで勉強会を開催した。
- 【日時】 平成27年10月16日（金）15：00～17：00
- 【場所】 ANAクラウンプラザ稚内 鳳の間
- 【主催】 宗谷シーニックバイウェイ、稚内信用金庫
- 【共催】 一般社団法人北海道開発技術センター、シーニックバイウェイ支援センター
- 【後援】 稚内市、稚内開発建設部、宗谷総合振興局
- 【参加人数】 70名（主催者：10名 一般参加：60名）



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「スイス・モビリティ先進地 スイス・ツェルマットへの視察」

- 【概要】 スイス・モビリティは2008年からスイスで実施されており、スイスの状況（公共交通と自転車との連携や手荷物の輸送など）がどのようになっているか調査するために、スイス・ツェルマットに視察に行った。また、同時にイタリア・ミラノ万博及びヴェネチアへの視察も行った。
- 【日時】 平成27年10月1日～10月9日  
※スイス・ツェルマット滞在日程（平成27年10月2日～4日・2泊3日）
- 【場所】 スイス・ツェルマット、イタリア・ミラノ、イタリア・ヴェネチア
- 【主催】 稚内てっぺん塾、宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議
- 【参加人数】 14名



# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「サイクルツーリズム先進地 しまなみ海道への視察」

- 【概要】 日本国内にてサイクリストの聖地と呼ばれる「しまなみ海道」に、天塩川流域ミュージアムパークウェイの関係者、北海道版スイス・モビリティ研究会のメンバーとともに視察を行い、サイクルツーリズム先進地の受入環境や課題について調査を行った。
- 【日時】 平成27年11月14日～15日
- 【場所】 しまなみ海道<西瀬戸自動車道> 広島県尾道市～愛媛県今治市
- 【主催】 天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会
- 【参加人数】 13名（宗谷シーニックバイウェイからは2名参加）





# 宗谷シーニックバイウェイ

SOYAScenic Byway

活動名：道北版スイス・モビリティ関連事業  
「静岡県掛川市でサイクルツーリズムを推進する佐藤氏を招聘した勉強会の開催」

**【概要】** 宗谷にてサイクルツーリズムを推進するために、静岡県掛川市にて地元サイクリストによるガイドサイクリングを観光商品化するなどの取組みを行っている佐藤氏を招聘し、「道北版スイス・モビリティ勉強会～クワイエット&スロー 地域観光に新たな可能性を求めて～」を開催した。

**【日時】** 平成28年3月15日（火）14:30～17:00

**【場所】** 稚内商工会議所 会議室

**【主催】** 宗谷シーニックバイウェイ

**【共催】** 天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会  
一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター

**【参加人数】** 45名（主催者：7名 参加者：38名）

## 道北版スイス・モビリティ勉強会

～クワイエット&スロー 地域観光に新たな可能性を求めて～

宗谷シーニックバイウェイと天塩川流域ミュージアムパークウェイでは、今年度より自転車やカヌー、歩きと公共交通を組み合わせて、観光を楽しむ「道北版スイス・モビリティ」の事業をスタートしました。今年度は、道北モデルコースの試走や先進地の視察、ジャパン・エコトラックを実施するモンベル広報担当者を招聘しての勉強会等を実施して来ました。

今回、静岡県掛川市を拠点に、ロコ（地元）サイクリストがガイドするサイクルツーリズムを商品化し、サイクルツーリズムを通じたまちづくりを実施する佐藤氏をお招きし、道北版スイス・モビリティ勉強会を開催します。

日時：平成28年3月15日 午後2時30分～午後5時

場所：稚内商工会議所 会議室

参加費：無料

主催：宗谷シーニックバイウェイ

共催：天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会

一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、一般社団法人北海道開発技術センター

### 講師のご紹介

コンセプト株式会社 代表取締役

静岡県サイクルツーリズム協議会 事務局長

佐藤 雄一 氏

コンセプトメイキング・マーチャンダイジング・デザインの総合的な計画推進・品質管理を主業務とするコンセプト株式会社を2000年に設立後、商品化計画、デザイン開発、ツーリズム開発など商環境プロデュースに特化した業務を展開している。

#### ■活動実績

##### サイクルツーリズム分野

ライドをライド狩野川の事業化と狩野川流域のサイクルツーリズムの商品化支援ぐるっと浜名湖ツーリズムの事業化と浜名湖サイクルツーリズムの商品化支援ゆるゆる遠州サイクルツーリズムの立ち上げとガイドライドによる観光商品化



##### 地域活動分野

掛川市のスローライフシティ宣言に至る行状と市民活動支援  
掛川ライフスタイルデザインカレッジの開設と運営

##### 商品開発分野

北海道と静岡の地域間交流によるフードの交換・ツーリズムの交換、ライフスタイルの交換による『互恵互補』の提唱と商品およびサービスの開発

#### ■委員・事務局活動

静岡県サイクルツーリズム協議会 事務局長（2013～）／ローカルライフスタイル研究会 事務局長（2012～）

掛川市 景観審議委員（2011～）／特定非営利活動法人 狩野川倶楽部 監事（2010～）

北海道開発局ツール・ド・北海道 国際大会等のあり方委員（2006）など





4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:宗谷シーニックバイウェイ	報告者:稚内開発建設部	報告年月:2016/3/31
--------------------	-------------	----------------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
景観	宗谷の景観と環境を守り育てることで、他地域との差別化を図る	稚内空港線植樹帯維持活動	平成27年6月6日	(協力協賛)宗谷総合振興局建設管理部、宗谷建設青年会、稚内開発建設部、稚内市役所、中田組、北武建設、高木組、稚内空港事務所、稚内観光協会、稚内ホテル旅館業組合、宗谷路の会、稚内測量協会、稚内のみなどを考える女性ネットワーク、一般市民ほか	稚内空港線(稚内空港前)の植樹帯を除草し、花植えを行った。観光客のお迎えとして一役を担った。植樹帯の区画を決め、協賛団体にも年間を通して維持管理をお願いし、参加団体は本年は20団体が参加した。また、子供たちや高齢者、身障者の方々の参加も増えてきた。	魅せるための景観形成活動として清掃・植栽活動、また冬の景観を楽しむスノーキャンドルイベント、更には「宗谷らしい道路景観を考える」検討会など、息長く続けられている活動に協賛している。  今後、地域全体で連携し取り組んでいく体制づくりを目指したい。	SY-5
		彩北わっキャナイト2016	平成28年2月13日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など	稚内港北防波堤ドームを約600個のスノーキャンドルで彩る。今年で13年目となる当イベントは、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わからない氷雪の広場』との同一会場での開催。昨年同様に北防波堤ドームのコンクリート壁に稚内北星学園大学の学生による映像作品が映し出されるという演出も行った。		SY-9
		宗谷らしい道路景観の検討	平成27年12月8日	稚内開発建設部	今年度から新たな地域として宗谷シーニックバイウェイに加わった浜頓別町にて、国道238号の道路景観診断を浜頓別町関係者、宗谷シーニックバイウェイ関係者、稚内開発建設部が連携して、実施した。道路上における景観の課題ともに、今まで知らなかった地域資源を関係者間で共有することが出来た。		SY-7
		環境	クリーンキャンペーン リシリ	平成27年5月23日	利尻町建設協会・運輸協会利尻トラック部会【協力協賛】利尻町観光協会		利尻町一円の沿道と自然公園等の清掃(ゴミ拾い)を行った。町内の美化に貢献し、数年続いている活動であるが、今後も継続して取り組む予定である。
情報		観光関係の若手による「しゃべり場」の開催	礼文島・平成27年5月1日 利尻島・平成27年10月13日	宗谷シーニックバイウェイルート運営代表者会議、礼文町、利尻富士町	宗谷地域で観光に関係する若手の方が自由に意見交換を行う「しゃべり場」を開催。平成25年度から開催し、今年度は礼文島、利尻島で開催し、礼文島では「地域の底力」、利尻島では「冬期観光」をテーマにワークショップを開催した。	SY-1 2	
		ルート内情報発信事業	初号:平成27年5月29日～最終号:平成27年9月25日	宗谷シーニックバイウェイ情報・観光分科会、稚内・利尻富士町・利尻町・礼文町・豊富町・猿払村・浜頓別町 各観光協会	宗谷シーニックバイウェイのルート内(稚内・利尻・利尻富士・礼文・豊富・猿払・浜頓別町)にある各観光協会・観光案内所同士で連携し、旬な情報を共有し、観光客に情報発信を行う事業として、週1回のニュースレターを発行した。本事業はルート発足当初から継続的に実施しており、過去にはベスト・プロジェクト審査委員特別賞の受賞している。近年は、SNS(twitter、Facebook)も活用し、情報発信を行っている。	SY-1 1	
		彩北わっキャナイト2016	平成28年2月13日	(協力協賛)稚内市、宗谷総合振興局、稚内開発建設部、稚内異業種交流会、稚内観光協会、稚内北星学園大学、稚内大谷高校、市内町内会、大黒地区発展協議会、まちづくり稚内、中央商店街、稚内青年会議所、北武建設、中田組など	稚内港北防波堤ドームを約600個のスノーキャンドルで彩る。今年で13年目となる当イベントは、稚内青年会議所などで組織する実行委員会主催の『わからない氷雪の広場』との同一会場での開催。昨年同様に北防波堤ドームのコンクリート壁に稚内北星学園大学の学生による映像作品が映し出されるという演出も行った。	SY-9	

	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成27年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光	宗谷に関する情報をつなぎ、あたたかいおもてなしを提供する	道北版スイス・モビリティ関連事業 「宗谷版スイス・モビリティ検討会の開催」	H27年7月22日【稚内】 H27年8月6日【利尻富士町】 H27年10月14日【利尻富士町】 H27年10月17日【稚内】 H28年1月12日【利尻富士町】	宗谷シーニックバイウエールート運営代表者会議	今年度から天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携し、スタートした「道北版スイス・モビリティ事業」について、宗谷地域での展開方向や具体的な取組み、課題等を検討する「宗谷版スイス・モビリティ検討会」を開催した。	継続的に行われているイベントが好評で、趣向を変えつつも引き続き実施されている。  これらは活動団体同士の連携により行われているものもあり、更に広がりを見せていくべきものとする。  また、今年度から天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携し、「道北版スイス・モビリティ事業」について、宗谷地域での展開方向や具体的な取組み、課題等を実証的に検討する試みもはじめた。	SY-13
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「天塩川流域ミュージアムパークウェイと連携したモデルコース試走調査の実施」	H27年8月3日～6日	宗谷シーニックバイウエールート運営代表者会議	美深～中川、稚内、礼文島、利尻島までのモデルコースを設定し、北海道版スイス・モビリティ研究会(dec事務局)のメンバーに試走してもらい、ルート上の課題や受け入れ環境のり方について調査を行った。		SY-14
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「山田桂一郎氏を招聘したセミナーの開催」	H27年10月16日	宗谷シーニックバイウェイ、稚内信用金庫	スイス・ツェルマツ観光局で日本人向けの観光プロモーションを担当している観光カリスマ山田氏を講師として招聘し、「宗谷の新たな観光を考える勉強会～“環境”と“観光”の両立による地方創生～」というテーマで勉強会を開催した。		SY-15
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「スイス・モビリティ先進地 スイス・ツェルマツへの視察」	H27年10月1日～9日	稚内てっぺん塾、宗谷シーニックバイウエールート運営代表者会議	スイス・モビリティは2008年からスイスで実施されており、スイスの状況(公共交通と自転車との連携や手荷物の輸送など)がどのようになっているか調査するために、スイス・ツェルマツに視察に行った。また、同時にイタリア・ミラノ万博及びヴェネチアへの視察も行った。		SY-16
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「サイクルツーリズム先進地 しまなみ海道への視察」	H27年11月14日～15日	天塩川流域ミュージアムパークウェイ、宗谷シーニックバイウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会	日本国内にてサイクリストの聖地と呼ばれる「しまなみ海道」に、天塩川流域ミュージアムパークウェイの関係者、北海道版スイス・モビリティ研究会のメンバーとともに視察を行い、サイクルツーリズム先進地の受入環境や課題について調査を行った。		SY-17
		道北版スイス・モビリティ関連事業 「静岡県掛川市でサイクルツーリズムを推進する佐藤氏を招聘した勉強会の開催」	H28年3月15日	天塩川流域ミュージアムパークウェイ、北海道版スイスモビリティ研究会 一般社団法人シーニックバイウェイ支援センター、 一般社団法人北海道開発技術センター	宗谷にてサイクルツーリズムを推進するために、静岡県掛川市にて地元サイクリストによるガイドサイクリングを観光商品化するなどの取組みを行っている佐藤氏を招聘し、「道北版スイス・モビリティ勉強会～クワイエット&スロー 地域観光に新たな可能性を求めて～」を開催した。		SY-18
		2015 WAKKANAI みなとコンサート	平成27年7月19日	(共催)稚内開発建設部、稚内市、FMわっぴー	稚内の観光名所であり、北海道遺産にも指定された歴史的建造物「北防波堤ドーム」を活用し、市民と共にみなとの重要性を考えつつ、最北の稚内の夏を楽しみ、かつこれらの稚内に夢と活気を与えるべく、住民主体の音楽会を開催した。		SY-6
		かまくらで遊ぼう	平成28年2月7日	(協力協賛)稚内開発建設部、稚内市、稚内副港サービス、他	冬レンジャーの催しとして、高さ2m、2畳ほどの広さのかまくらを2基作り、その中で親子が豚汁を食べたり、雪上での玉入れや雪中綱引きなど様々なゲームを行った。		SY-8